



虫送り

この虫送行事は、約300年前から伝わる伝統行事で、半夏生(夏至から11日目)の日に火手と呼ばれる松明を田にかざしながら畦道を歩き、害虫を退治し豊作を願うものです。
中山地区ではここ数年間途絶えていましたが、映画「八日目の蟬」で重要なシーンとして「虫送り」が行われたのがきっかけに復活しました。親子連れら約300人が、高低差100mの坂道を「灯せ、灯せ」の声をかけながら下り、そのゆらゆらと揺らめく幻想的な光の列は観る人を魅了しています。

中山農村歌舞伎

中山農村歌舞伎の起源は今から300年前(江戸時代中期)と言われています。明治・大正期には、島全体で歌舞伎舞台が大小30、役者も600～700人いたという記録が残っていますが、今では中山地区と肥土山地区のみとなっています。
この中山農村歌舞伎で最も古い資料では「寛政元年(1789年)」と書かれた太鼓が現存しています。数百年の間、五穀豊穡の奉納歌舞伎として、役者から裏方まで地元の手によって上演されている伝承芸能です。上演日には、家々から割盒弁当を手に数席に集まり、酒を酌み交わしながら観るのが習わしとなっています。



わりごうべんどう
割盒弁当



小豆島への アクセス



関西方面(神戸・姫路)から

神戸港(フェリーで3時間10分)→坂手港
姫路港(フェリーで1時間40分)→福田港

岡山方面から

新岡山港(フェリーで1時間10分)→土庄港
宇野港(フェリーで1時間30分・豊島)→土庄港
日生港(フェリーで1時間10分)→大部港

四国方面から

高松港(フェリーで1時間/高速艇で30～40分)→土庄港、池田港、草壁港、坂手港



小豆島町商工観光課 〒761-4434 香川県小豆郡小豆島町西村甲1896-1
Tel:(0879) 82-7007/Fax:(0879) 82-7017
URL: <http://www.town.shodoshima.lg.jp> / E-mail: olive-shoko@town.shodoshima.lg.jp



小豆島

中山散策マップ

Nakayama walking map

SHODOSHIMA



ようこそ中山へ

日本の原風景 中山の郷

中山の郷は、小豆島のほぼ中央に位置する中山間地域になります。この郷は標高差100mの間の山肌沿いに広がる棚田を中心として、奥深い山々、島の重要な水系「殿川」、そして点在する民家で構成されており、『美しい日本の歴史的風土100選』や『にほんの里100選』の一つに数えられるような日本の原風景が残されている里山です。
棚田「中山千枚田」は南北朝時代から江戸時代中期にかけて造られたものと言われています。先人たちが急な斜面にコツコツと石積みを施し出来上がったもので、耕作者の高齢化や後継者不足が進むなか守り続けられています。そして、五穀豊穡に対する神々への奉納歌舞伎「中山農村歌舞伎」も約300年の歴史を有する伝承芸能として今でも上演されています。



また、殿川の水量を生かして、小麦を挽く水車小屋が川沿いに30数棟も建ち、島の素麺作りを支えていた時代もあります。
この郷には伝統を守り伝えた風景があり、訪れる人たちが心を癒せる場所でもあります。



旧殿川橋の風景(明治40年頃)



中山散策マップ

1



中山農村歌舞伎舞台

昭和62年3月3日に国の有形民俗文化財に指定された中山農村歌舞伎舞台は、天保年間以前、琴平の旧金丸座を参考に建築されたと伝えられています。見物席は、ゆるやかな斜面を利用して石積でしきられており、衣装倉には衣装720点、かつら62点、大道具、小道具あわせて206点が納められています。歌舞伎台本類も600冊余りが保存されています。中山農村歌舞伎は毎年10月上旬に上演されています。

2



肥土山農村歌舞伎舞台

江戸時代から300年以上の歴史を誇る小豆島歌舞伎ですが、かつて島中にあった歌舞伎舞台も中山地区とこの肥土山地区の2つだけです。この肥土山の舞台も国の有形民俗文化財に指定されており、建築様式は茅葺寄棟造りで中山の舞台と同じ造りですが一回り大きな舞台です。肥土山での農村歌舞伎は、毎年5月3日に上演されています。

3



千枚田

香川県内で唯一「日本の棚田百選」に選定されている「中山千枚田」は、山股に沿う8.8haの丘陵地に大小約800枚の田が折り重なり、標高250mから150mにかけて、湯船山から見事な曲線美を描いています。名水百選にも選ばれている湯船山からの「湯船の水」でおいしいお米が育つと云われています。

 ビュースポット: マップにてご紹介!

4



湯船山

小豆島のほぼ中央に位置する湯船山は、クス、イブキビャクシンなどの自然性の高い樹木を有し、その社叢は、県の自然記念物や町の天然記念物として守られています。また、ここから湧き出る「湯船の水」は、どんな日照りにも涸れることのない貴重な水源として地元の人々の生活用水や農業用水として昔から大切に利用されています。

5



共同洗い場

千枚田にある共同の洗い場です。野菜や衣服を洗う場所があり、畑から帰る人たちが野菜を洗い、井戸端話ならぬ洗い場端話に花を咲かせる憩いの場です。

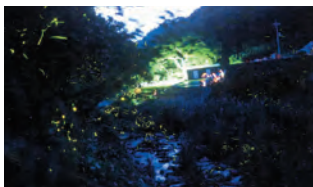


名水百選「湯船の水」



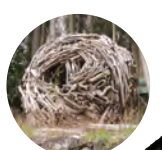
国蝶オオムラサキ
一年中色々な生態を
観察できます。
(成虫7月ごろ)

6



中山 ホタルの郷

この中山ホタルの郷では、幼虫の孵化や放流などホタルを増やすための取り組みを続け、今では5月下旬から1ヶ月間、ゲンジやヘイケ、ヒメボタルの乱舞が見られます。近くの農機具小屋には「ホタルの郷」をイメージした昆虫の壁画が描かれています。また、島では絶滅した国蝶オオムラサキの復活や水仙畑の整備など、生き物たちが住みやすい環境づくりを続けています。



大地の種



中山昆虫壁画

7



クリンジン灯籠



高山右近像
(カトリック小豆島教会)



右近潜伏地の石碑
(新中山池手前)



錦杖に十字が刻まれた石像（湯船山）

中山自然美術館

中山自然美術館は、小豆島の中山、通称「ホタルの郷」一帯の雄大な景色、そこに在る植物、生き物、点在する美術作品を鑑賞できる屋根のない大きな美術館です。



育つ場所

高山右近の潜伏

クリンジン大名・高山右近は、バテレン追放令(1587年)を出した豊臣秀吉に棄教を迫られ、それを拒否したため国を追われましたが、同じクリンジン大名で小豆島を所領としていた小西行長の保護のもと島に隠れ住んでいた時期があります。島内にはクリンジンの遺物と推測される灯籠や石像が随所に残されています。